

地域ため池総合整備事業（新規）

【300（0）百万円】

対策のポイント

地域全体の防災安全度を効率的かつ効果的に向上させ、併せて地域活性化に資するよう、防災・減災を核とする中での、環境保全や親水面での利活用にも資するため池の総合整備対策を推進します。

（災害に係る農村の現状）

- ・平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震をはじめ、近年、甚大な自然災害が多発化する傾向にあります。
- ・地球温暖化に伴う気候変動の影響で大雨の頻度が増加したり、台風の強度が強まることなどにより、災害が頻発したり、激甚化する懸念が指摘されています。
- ・農村における農家の減少・高齢化に伴い、農地・農業用施設を管理する農家の防災対応力が低下する一方、混住化の進展等により生命・財産等の被災リスクが増大するなど農村の地域防災力が低下しています。

政策目標

集中豪雨等による被害の発生するおそれのある農用地について、防災・減災対策を実施

<内容>

地域全体の防災安全度を効率的かつ効果的に向上させ、併せて地域活性化に資するよう、地域に所在する複数のため池を対象に、地域ため池総合整備計画を策定し、防災・減災を核とした環境保全や親水面での利活用にも資するハード・ソフト対策を総合的に実施します。

<事業実施主体等>

1. 事業実施主体 都道府県
2. 補助率 50／100等
3. 事業実施期間 平成21年度～

【担当】農村振興局防災課

岡野・鈴木（03）6744-2210（直）